

全員協議会記録

開会年月日	令和2年10月5日
開会時刻	午後1時29分
閉会時刻	午後3時02分
出席議員名	宮崎 誠 井村貴志 久保 真 中村 功 上村和生
	北村 勝 楠木宏彦 鈴木豊司 野崎隆太 吉井詩子
	世古 明 野口佳子 岡田善行 福井輝夫 辻 孝記
	吉岡勝裕 品川幸久 藤原清史 西山則夫 小山 敏
	浜口和久 山本正一 宿 典泰 世古口新吾
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	中野 諭
協議議題	新型コロナウイルス感染症に関する補正予算について
説明員	市長、副市長、総務部長、総務部参事、総務課長
	情報戦略局長、情報戦略局次長、財政課長、環境生活部長
	環境生活部参事、戸籍住民課長、市民交流課長、産業観光部長
	産業観光部参事、商工労政課長、観光誘客課長、観光振興課長
	都市整備部長、都市整備部次長、交通政策課長、交通政策課副参事
	学校教育部長、事務部長、文化振興課長、スポーツ課長
	社会教育課長
	その他関係参与

開会 午後 1 時 29 分

◎世古明議長

ただいまから全員協議会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

御協議願います案件は、「新型コロナウイルス感染症に関する補正予算について」であります。

議事の進め方については議長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明議長

御異議なしと認めます。

そのように取り計らいをさせていただきます。

【新型コロナウイルス感染症に関する補正予算について】

◎世古明議長

それでは、「新型コロナウイルス感染症に関する補正予算について」を協議題といたします。

当局の説明を求めます。

市長。

●鈴木市長

それでは、本日は御多用のところ、新型コロナウイルス対策に係る補正予算を来週の 9 月定例会最終日に御審議いただくに当たりまして、全員協議会をお開きいただきましたことを感謝申し上げたいと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症の国内の状況といたしましては、5月25日に緊急事態宣言が解除されて以降、7月、8月に感染拡大しましたが、9月に入り減少傾向が見られる中、G o T o キャンペーンの開始に見られるように社会経済活動も段階的に緩和をされ、また、新しい生活様式による促進の取組も進められているところでございます。

本市におきましては、今日まで17名の患者さんがおみえになり、まずは1日も早い御回復を心より祈念するとともに、個人の特定や不用意なうわさ話など、いじめや差別、こういったことにつながることをないよう、心より御理解と御協力をお願い申し上げます。

さて、社会経済活動状況におきましては、回復の動きが見られるものの、コロナ前の水準には及ばず、引き続き感染防止に努めるとともに、これまでとは異なる新しい形で社会経済を動かすための対策が求められております。

本日、御協議をいただく新型コロナウイルス感染症追加対策につきましては、感染状況や社会経済状況を踏まえた中で、感染拡大防止を図りながら社会経済活動を進めるための環境整備、また年末年始に係る対策等について編成したものでございます。

この後、関係部長から御説明いたしますので、御協議のほどよろしくお願い申し上げます。

◎世古明議長
情報戦略局長。

●浦井情報戦略局長

それでは、新型コロナウイルス感染症の追加対策事業につきまして御説明いたします。

なお、本日の内容は現時点のものでございまして、本日の協議を踏まえた上で追加提出させていただきます補正予算案におきましては精査した金額等でお示しさせていただきますこと、それと、追加の事業を計上させていただく場合もありますことを御理解いただきたいと存じます。

それでは、1ページをお願いいたします。

今回の新型コロナウイルス感染症対策として歳出総額4億6,280万円の事業を計画しております。

それでは、事業概要書に基づき御説明させていただきますので、3ページをお願いいたします。

No.1、日本語教室オンライン化事業でございます。コロナ禍で、伊勢市国際交流協会では在住外国人への日本語教室等の事業が実施できない状況にありますことから、新しい生活様式に沿って日本語教室等の事業を実施できるようオンライン化等の支援をするもので、140万円を計上しております。

次にNo.2、戸籍住民課窓口混雑状況配信事業は、待合スペースで待つ人数を減らし、来庁者の新型コロナウイルスの感染リスクを下げるため、戸籍住民課に設置してあります番号発券機に窓口の待ち人数や現在の呼出し番号をホームページ上で確認できるシステムを導入しようとするもので、70万円を計上しております。

4ページをお願いいたします。

No.3、中小規模店応援商品券発行事業でございます。新型コロナウイルス感染症による影響が長期化していることから、特に影響が大きい中小規模店を支援するため、現在実施しております地域応援商品券発行事業に引き続き、中小規模店専用のプレミアムつき商品券を発行するものでございます。今回の商品券はプレミアム率を100%といたしまして、額面500円券を20枚の合計1万円、利用期間は1月中旬から2月下旬とするものでございます。発行部数につきましては各世帯に1冊の5万6,000冊とし、1月上旬からの発行を予定しておりまして、事業費3億2,800万円を計上しております。

No.4、首都圏期間限定店舗設置事業は、観光客が減少する中、地域製品の販売促進、販路拡大及び認知度向上につなげるとともにコロナ収束後の誘客につなげるため、首都圏に期間限定店舗を設置し、地域製品の販売、伊勢市の観光PR等を行うもので、1,500万円を計上しております。

5ページをお願いいたします。

No.5、年末年始混雑緩和事業でございます。新型コロナウイルス感染症の感染リスクの

低減を図り、安心安全な観光客の受入れ環境の創出と市民の安全な生活環境を確保するため、年末年始におけます観光客の平日等への分散化を図ろうとするものでございます。平日限定の記念ノベルティの配布やイベントの開催、市営宇治駐車場を1月中の平日は一定時間無料にするなどの経費として6,000万円を計上しております。

次にNo.6、クリエイターズ・ワーケーション促進事業、こちらは、第6号補正でお認めいただき、参加クリエイターの募集を始めましたところ、応募開始から3週間で約430名と想定を超える数の応募が集まっておりますことから、参加人数の上限を50名から100名にしようとするもので、1,270万円を計上しております。

6ページをお願いいたします。

No.7、GoToトラベル登録支援事業でございます。GoToトラベル事業の本格的なスタートに際し、市内の宿泊施設、飲食店、土産物店等が行います同事業への登録申請業務が複雑なことから登録手続の支援を行うもので、400万円を計上しております。

次にNo.8、まちの再発見情報発信事業は、一般の情報誌では発信されていない市民の地元目線での情報や観光客が伊勢を訪れたからこそ分かる情報をSNSを活用して広く発信するとともに、その投稿情報を全国展開の旅雑誌やウェブサイトで特集を組んで発信することによりまして、近い将来を見据えた観光需要の取戻しを図るもので、900万円を計上しております。

7ページをお願いいたします。

No.9、おかげバスキャッシュレス決済導入事業でございます。本事業は、おかげバスにキャッシュレス決済を導入することで利用者の運賃の支払い時における利便性向上と接触機会低減によります感染防止、これを図るものでございます。令和3年11月頃を目途に非接触型交通系ICカードシステムの導入に向けまして、今年度はバス車両乗降口に設置しますICカードリーダーライタなどのキャッシュレス決済用の端末機器類を購入しようとするもので、1,980万円を計上しております。

次にNo.10、生涯学習施設感染防止対策事業は、生涯学習施設を不特定多数の方が利用されますことから、感染防止対策を強化し、利用環境を整備するため、消毒液用オートディスペンサー、サーモグラフィカメラ、手洗い水洗のプッシュ型水洗への取替え、網戸設置を行うもので、360万円を計上しております。

8ページ、9ページをお願いいたします。

8ページのNo.11、図書館感染防止対策事業、No.12の体育施設感染防止対策事業、9ページのNo.13、文化施設感染防止対策事業、No.14の観光文化会館感染防止対策事業、これら4事業につきましては、先ほどの生涯学習施設感染防止対策事業と同様に、各施設の状況に応じた感染防止のための環境整備を行うもので、記載のとおり所要の事業費をそれぞれ計上しております。

すみませんが、1ページにお戻りください。

ただいま御説明いたしました事業におきまして、歳出総額は概算で4億6,280万円となりまして、下段に記載のとおり財源としましては、まずは地方創生臨時交付金を充当し、残額は地方交付税で調整いたします。

2ページを御覧ください。

参考として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の本市への配分額及び事業への充当状況を記載しております。今回の充当額4,937万6,000円によりまして、配分額の全額を充当することとなります。

なお、2、観光交通対策特別会計においては、先ほど御説明いたしましたNo.5、年末年始混雑緩和事業で実施を予定しております、1月中、平日の一定時間、市営宇治駐車場の駐車料金を減免するに当たりましての歳入予算を調整いたします。

以上、新型コロナウイルス感染症対策事業について御説明申し上げました。御協議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

◎世古明議長

ただいまの説明に対しましてこの後御協議をいただきますが、本日は新型コロナウイルス感染症対策としまして質疑応答は部局単位で行い、それぞれ説明員を入れ替えることといたします。

また、議員の質問は質問席で、当局の答弁は自席で行っていただくことといたします。

まず始めに、事業概要書の3ページをお開きください。

3ページから6ページまで、事業概要書のNo.1からNo.8、環境生活部関係分及び産業観光部関係分について御発言はありませんか。

宮崎議員。

○宮崎誠議員

それでは、発言の許可をいただきましたので、私から数点質問させていただければと思っております。

まず、第4ページ目のNo.3、中小規模店応援商品券発行事業についてお伺いしたいと思います。

これまでも幾つかのプレミアムつき商品券という形で事業者への支援をしていただいたと思っております。今回の差別化といいますか、その点について今回このように決められた経緯などありましたらお聞かせください。

◎世古明議長

商工労政課副参事。

●野中商工労政課副参事

今回の事業につきましては、コロナが非常に長くなってきたところから追加で支援を行うものでございます。今までとの差別といいますと、このコロナが長くなったことにより、より影響を受けている中小規模店舗に絞って支援を行うものでございます。額面総額5億6,000万円、これは伊勢市の世帯に1冊は届けようということでございます。プレミアム率は100%で、販売額5,000円で、額面1万円というふうになっております。以上です。

◎世古明議長

宮崎議員。

○宮崎誠議員

説明ありがとうございます。今回5万6,000冊という形で発行される形になりますけれども、ほぼ伊勢市内の総世帯数と同等ということではありますが、今回この各世帯への周知方法などありましたらお聞かせください。

◎世古明議長

商工労政課副参事。

●野中商工労政課副参事

前は往復はがきによる申請をしておりましたが、今回につきましては、確実に各世帯に届くように、住民基本台帳を基にして各世帯に引換券を郵送する方法をとらせていただきます。また、確実に届くように特定記録郵便を用いまして、確実に届いたというのが追っかけられるような方法で郵送させていただきます。以上です。

◎世古明議長

宮崎議員。

○宮崎誠議員

今回確実に郵送で届けていただけたら、各世帯で御利用できるというものでもありますので、ぜひとも徹底してやっていただけたらと思います。

今回この事業に関してなんですけれども、この事業に限らずだとは思っているんですが、今回の新型コロナウイルス感染症対策事業の中では一番規模的には大きくなる数字かなと思っております。このことについて、やはり私だけではなくていろんな方から、こういうプレミアム商品券以外でも、やはり制度のはざまといいますか、そういったところで苦勞されている、今回で言えばテレビ報道でもよくあります大学生だったり学生さんの貧困の状況だったりとか、そういった点だけではなくて、実際にその制度のはざま上で申請したくても申請できなかった、支援が受けられなかった、そういった事業者さんもたくさんあると私自身も伺っております。そういったところにも実際は手を伸ばしていきたいことだと思っておるんですけれども、なぜといいますか、今回この事業に手をつけたといいますか、選択されたそういった意図がありましたらお聞かせください。

◎世古明議長

情報戦略局長。

●浦井情報戦略局長

今回の追加事業、全般的なことで考え方を説明させてもらえたらというふうに思っております。

本日お配りしました用紙の一番最初に、イラストといいますかポンチ絵のほうをつけさせていただいております。こちらの上段のところに市の対策方針の考え方ということでまとめさせていただいておりますけれども、市のほうといたしましては、国・県等の支援が対象とならない、不足する、間に合わない、そういった生活者、事業者等を支援するというようなことから、まずはこの国・県等の支援がどの程度届いておるか、市民や事業者の皆さんがどういうふうな御苦勞をされておるかというところに寄り添うというふうな考え方を持って迅速に届けるといたしております、今回もこの対策方針に基づきまして、今回追加すべき事業ということで考えさせていただいております。以上です。

◎世古明議長

宮崎議員。

○宮崎誠議員

先ほど回答の中で、やはり寄り添うという言葉が入りました。これはやはり私たち一人一人が、まず市民の方、そして国民レベルといいますとちょっと厳しいとは思いますが、やはり一人一人にどれだけ寄り添えるか、そういったことに重点を置いて、今後も引き続きどんな支援ができるのかということについて御考慮いただけたらと思っております。

次に行きたいと思っております。次は、5ページのNo.5の年末年始混雑緩和事業という形で、今回駐車場の市営宇治駐車場の無料化という形で出ております。このことについてお聞かせください。

1月中の平日とあるんですけども、実際この無料化によってどれぐらいの減収見込みとなっているのかお聞かせください。

◎世古明議長

交通政策課長。

●小林交通政策課長

予定しておりますのが、1月1日から5日まで、またそれ以降の土日、祝日を除きます1月中の平日を予定しております。17日間でございますが、おおむね2,400万円減収する予定でございます。

◎世古明議長

宮崎議員。

○宮崎誠議員

17日間2,400万円ということで、分かりました。これについては補填という形になってくるかと思っております。

続いての質問にさせていただきたいと思っております。

この今ありました17日間、この平日の期間なんですけど、実際に利用された方からすれば、

車を長時間置いてしまって日をまたぐという可能性が出てこないかと私自身は心配しているところではありますが、そういったことへの警備体制だったりとかそういったことについて、考えがあればお聞かせください。

◎世古明議長

交通政策課長。

●小林交通政策課長

長時間駐車される可能性もございますので、4時間ほど無料にしたいと考えております。平日の警備体制でございますが、今のところは例年の1月と同じような警備体制にしたいと考えております。

また、ひょっとすると渋滞も増えてくる可能性もございますので、臨時駐車場の開設も今のところは予想はしておりませんが、対応がとれるような体制にしたいと考えております。以上です。

◎世古明議長

宮崎議員。

○宮崎誠議員

分かりました。4時間無料という形になるということですので、これもどうやって管理をしていくかというのが課題になるかとは思っておりますので、ぜひともその辺も決めながら考慮していただければと思っております。

今回のこの無料化、1月に関する無料化といいますか、これについては毎年の実際は課題ではないかなと私自身は考えているところです。この渋滞緩和といいますか、そういった混雑の緩和をするため、平準化するというような考え方がありますでしょうか。

◎世古明議長

交通政策課長。

●小林交通政策課長

この施策は、特に来年の1月につきましては、コロナの影響でなるべく三が日を平準化、あるいは休日を平準化したいということで行う措置でありまして、今回だけの措置ということで考えております。

◎世古明議長

宮崎議員。

○宮崎誠議員

毎年になると確かに厳しい状況かなと思っておりますが、同じようなこの新型コロナウイルス

感染症と同じような状況がいつ来るか分かりません。そういったときに今回のことを一つの事象例として参考に、今後何ができるかということをもまずは研究材料として培っていくことができたかと思っておりますので、ぜひとも今後のためと思っております。いろいろな情報を収集していただきたいと思っております。

最後に、No.6のクリエイターズ・ワーケーション促進事業についてお聞きしたいと思っております。

今回、私も県内だけではなくて全国的に初の事業という形でお伺いしたときに、すごく私自身だけかもしれませんが、わくわくしたそんな気持ちも持っております。実際に他の自治体でいえば、著名人の方が泊まれた、もしくはそこで作品を残されたということで次の観光事業につながっていく、そういったことで私自身もすごくすばらしい事業になればと思っております。今回ちょっと私も予想外にこれだけの反響があるとは思っていませんでした。部門としてこれだけの反響があったことについて、思っていたことと違うといいますか、問い合わせだったりクリエイターさんから問い合わせがあったり、そういった言づてでも構わないんですけども、どんな反響があったのかということだけお伺いして終わりにしたいと思います。

◎世古明議長

観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

クリエイターズ・ワーケーション促進事業でございますが、概要には3週間で430名と書いてございますが、現在のところ600名を超える応募がございます。応募者の方から自由記述のところを読んでいますと、やはり伊勢に来られる方、初めての方もたくさんいらっしゃいますし、それと伊勢への思いがすごく強い方がたくさんいらっしゃいます。今回、著名人の方もたくさん応募いただきまして、本当に伊勢という名前のブランドを改めて認識させていただきました。

これからもこの伊勢とクリエイターズの方、連携しながら、どんどん伊勢の知名度向上アップにつなげていきたいと思っております。以上でございます。

◎世古明議長

他に御発言はありませんか。

吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

それでは、少し聞かせていただきます。よろしくお願いたします。

まずは、先ほど宮崎議員からも質問がありました中小規模店応援商品券発行事業についてお伺いします。世帯数等いろいろとお答えをいただきましたので、重複しないところを聞きたいと思っております。

先ほど全世帯のほうに引換券を配っていただくということで話をさせていただきました。

郵便局に行けない方、そういった方はどうするのか、またその辺考えていることがあればちょっとお聞かせいただけますでしょうか。

◎世古明議長

商工労政課副参事。

●野中商工労政課副参事

この件につきましては、市と協定を結んでいます郵便局と実施するというふうになりました。今おっしゃられた郵便局に行けない方というのは、やはり残念ながら行けないということもあるんですけども、今回は引換券を送付するというので、それを行ける方に預かっていただければなというふうに考えております。以上です。

◎世古明議長

吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

ありがとうございます。郵便局へというのを聞いておりましたので、ちょっとそういう形でお伺いしたんですけども、いろいろ課題のある方もおみえかと思しますので、ぜひ決まりましたら、またその辺は検討するべきではないかなと思います。

それと、地域応援商品券が今、販売されている途中でありますけれども、半分以上売れ残ったので、今、一般販売をしていただいております。そのときに1,000円券が1枚しかなかったということで、もう少し1,000円券があると私買ったんですけどもな、という声もいただきました。今回500円券が20枚ということで、また利用が中小規模店のみにしたという理由をもう少しお聞かせください。

◎世古明議長

商工労政課副参事。

●野中商工労政課副参事

確かに1,000円券をもう少しという声を私自身も伺っております。ただ、今回はちょっと目線を事業者側から見ていただいて、やはり今非常に困っているのは、コロナが長く続いて中小規模店のほうが困っていらっしゃる。そこを助けるのがいいということで、これは伊勢商工会議所さんのほうと協議しながら決めたというふうな流れになっております。以上です。

◎世古明議長

吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

ありがとうございます。たくさんの方に買っていただけるように、その辺は周知のほうもお願いしたいと思います。

もう一つは参加店舗なんですけれども、ちょっと少しくわいたことが考えていますという話をさせていただいたところ、現在の地域応援商品券の店舗、またもう1回再登録しなければいけないのかなという話を伺いました。このまま引き続き、1月の中旬から始まるほうにも参加していただけるように簡素化できないかどうか、その辺はどのように考えているのか教えてください。

◎世古明議長

商工労政課副参事。

●野中商工労政課副参事

簡素化できるように調整を商工会議所とさせていただきたいんですが、やはりそのままといいますと意に反して辞退されたいということもありますので、確認は最低限させていただきたいというふうに考えております。

◎世古明議長

吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

分かりました。ありがとうございます。その辺は商工会議所、また伊勢小俣町商工会、いろんなそういった団体等の声を聞いていただきながら、よろしくお願ひしたいと思ひます。

続いて、No.4の首都圏期間限定店舗設置事業について、もう少しお尋ねさせていただきます。

ここには首都圏に期間限定店舗を設置するというこゝで書いていただひておるんですけども、首都圏といつても幅広ひ中でどのように考えているのか、まず教えていただひけまゝすでしょうか。

◎世古明議長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

首都圏ということなんですけれども、現在は横浜市青葉区にござひます、たまプラーザテラスという東急電鉄田園都市線たまプラーザ駅に一体となつておる複合商業施設がござひます。こちらのほうでの出店を現在のところ考えておひます。以上でござひます。

◎世古明議長

吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

そこを選んだ理由があるのであれば、何か教えていただけますでしょうか。

◎世古明議長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

こちらのたまプラーザテラスにつきましては、これまで伊勢市観光協会さんと一緒に平成25年から7回にわたり観光物産展、これを行ってまいりました。これまでの関係と、それから売上等々を勘案しまして、また先方からもオファーがございましたことから、今回この事業を考えたところでございます。以上です。

◎世古明議長

吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

ありがとうございます。

その次に、市内の地域産品を販売しますとあるんですけれども、市内の地域産品、できるだけその観光PRができるような商品がいいのかなと思いますけれども、その条件であったり誰が決めるのか、この辺はどのようにするのか教えていただけますでしょうか。

◎世古明議長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

この事業につきましては、実施に当たりまして伊勢市観光協会さんのほうに市のほうから事業を委託するというのを今のところ予定をいたしております。その中で、特に協会の会員さんというふうに縛るわけではなくて、市内でその地域の名産品、産品を扱われる事業者様を広く募集のほうをさせていただきまして、現地のほうで販売をするという形にしていきたいというふうに考えております。以上です。

◎世古明議長

吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

ありがとうございます。そうしたら、公募していただけるような形かなと思いますけれども、ぜひ参加していただける方がたくさん手を上げていただけるように周知のほうもお願いしたいと思います。

続いて、先ほど年末年始混雑緩和事業ということで宮崎議員からも質問がありましたけれども、そこで③番、5番について少し聞かせてください。

③番には、内宮周辺エリア閑散期限定企画という形だけしか書いていないんですけれども、これはどういったものなのか教えていただけますでしょうか。

◎世古明議長
観光振興課長。

●小林観光振興課長

こちらにつきましては、現在まだまとまっておりませんが、観光協会さんと協力して期間限定のイベントをやろうと考えております。ただ、これにつきましても観光協会の会員さんの協力が必要になってまいりますので、現在まだ調整中ということで御理解いただきたいと思います。

◎世古明議長
吉岡議員。

○吉岡勝裕議員
分かりました。

次に、5番目のE-BIKEとありますけれども、E-BIKEを活用した旅行商品の造成、二見地区への誘導ということで、もう少しこの内容を聞かせていただけますでしょうか。

◎世古明議長
観光振興課長。

●小林観光振興課長

こちらのE-BIKEの活用につきましてはですが、E-BIKEと申しますとアシスト付電動自転車のさらに最近ではマウンテンバイクとかロードバイクのようなタイプ、それから車輪の小さいカジュアルなタイプも出ておりますので、そういったものを購入して、市内周遊をする旅行商品の造成と併せて市内の周遊を進めていきたいというふうに考えております。

◎世古明議長
吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

ありがとうございます。観光協会のレンタサイクルという形で、普通の自転車また電動付自転車、いろいろそういうのも今あるわけですが、観光協会のコムスなんかもい

つの間になくなってしまったのかなというふうに、これを見せていただいていたと思います。

なかなか自転車であったり、乗っていただけるような商品というのはなかなか難しいのかなと思ったんですけれども、ハワイなんかですと原付バイクなんかがよく聞くんだけれども、その二見地区にE-BIKEの需要、発掘していこうということではあると思うんですけれども、その辺の需要が見込めるのかなという心配もちょっとありますけれども、その辺はどのようにお考えでしょうか。

◎世古明議長

観光振興課長。

●小林観光振興課長

需要につきましては未知数のところがございますが、今考えているのは伊勢市内中心部、中心駅等のほうから二見方面へこのE-BIKEを利用して走っていただくとか、そういった形での少し長距離になりますけれども移動を勧める、そんな啓発を進めていきたいと思っております。

◎世古明議長

吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

ありがとうございます。先ほど電動以外にもロードバイクのようなものであったり、そういった自転車も話がちょっと出ていましたけれども、いろいろと検討していただいて市内周遊していただくような形で考えていただけたらというふうに思います。

最後に、G o T o トラベルの支援事業ということで、No.7につきましてお聞かせいただきたいと思っております。

先日、一般質問でもお話しさせていただいて、G o T o トラベルキャンペーン、いろいろ難しいということで、なかなか手を上げていただけないんじゃないかなという話をさせていただいて、今回その登録業務の支援をしていただくということで400万円の予算が計上されて、今事業費となっております。その辺もう少し、どこに委託するのか、その辺を教えていただけますでしょうか。

◎世古明議長

観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

G o T o トラベルの三重県での割当てがございまして、三重県のこの伊勢志摩地域を担当するのが日本旅行さんとなっております。日本旅行さんのほうからは、対象店舗になる店舗の情報であったり説明会であったりとかは開いてはいただいているようなんですが、サポートまでは行き届いていないということで、今回こちらのほうでサポートまでさせて

いただくように予算を計上させていただきました。以上でございます。

◎世古明議長
吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

ありがとうございます。日本旅行さんにしていただくということで考えていただいているということですが、このお金でどれぐらいの件数を見込んでいるのか教えていただけますでしょうか。

◎世古明議長
観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

今、飲食店さんが対象となる店舗が500件程度なのかなと思っておりますが、200店舗以上は登録していただきたいと考えております。以上でございます。

◎世古明議長
吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

ありがとうございます。たくさんのG o T oトラベルの申請をお助けいただけたらと思います。

先日の土曜日、日曜日朝のニュースはもうずっとこればかりやっておりました。たくさんの方がこれに期待をして、日本国中の方がいろんなところへお出かけされているみたいですが、ぜひ伊勢を選んでいただけるように支援もお願いしたいと思います。

今日もちょっと旅行会社さんへ寄ってきたんですけど、このG o T oキャンペーン、なかなかお金の入金がこの立替えをせないかんということで大変なんですという話もちょっと伺ってきました。ぜひ国や県のほうにもその辺をお願いしたいということで、もっと早く、もうなかなかやりたくても資金が回っていかへんと、そんな話もされておりました。

G o T o、いろいろと問題点もあると思うんですけど、どのように問題点、課題ということを考えているのか、先日も少しお伺いしたんですけど、こういった支援以外に考えているところがあれば少し教えていただけますでしょうか。

◎世古明議長
観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

G o T oトラベルキャンペーンで、特に地域共通クーポン、これは本当に地域にお金を

落としてもらえる重要な手段だと思っております。やはりどこでも使えるように、なるべく店舗の登録を増やすようにと私どもも思っております。今、G o T o、地域共通クーポンのほうで飲食店さんに登録してもらおうと思いますと、G o T oイートのキャンペーンのほうにも登録をしてもらわないといけないということで、今件数を確認いたしますと、G o T oイートのキャンペーンのほうには飲食店さん、230件程度登録があるんですが、地域共通クーポンの飲食店であると30店舗ぐらいしか登録がないという状況でありまして、この制度の理解もちよっとしにくいのかなというところもございまして、また先ほど議員おっしゃられましたとおり、一旦お金を立替えという状況もございまして、そういったことも、お金の精算のことも、月2回締め日がございまして、それから30日以内に振り込まれるということにもなっておりますので、そういった説明等丁寧にしていただけるよう、今回この委託をさせていただきます。以上でございます。

◎世古明議長
吉岡議員。

○吉岡勝裕議員

ありがとうございます。恐らく悩んでみえる方とかやりたいけれども面倒くさいなという方もたくさんおみえだと思しますので、ぜひその辺、支援になるようなことをやっていただけたらと思います。以上で終わります。ありがとうございました。

◎世古明議長
他に御発言はありませんか。
辻議員。

○辻孝記議員

私からも少しお聞きしたいと思います。ページでいきますと4ページの中小規模店応援商品券発行事業であります。

先ほど来、宮崎議員、そして吉岡議員が質問されております。かぶらない程度でちょっとお聞きしたいと思います。

店舗に関しましては、先ほど吉岡議員からありましたように、継続をしていただくような形、プラス、増やしていくというふうな形でよろしかったと思うんですが、少し考えてほしいところがございまして、今回のこの商品券発行事業、今回、今現在進行中の商品券とは若干違う部分があるかと思うんですが、本来の目的というものは、書いてはおられますが、もう少し詳しく教えていただけますか。

◎世古明議長
商工労政課副参事。

●野中商工労政課副参事

やはり先ほども申し上げましたが、この主の目的といいますのは、事業者のほうから見て困っている事業者を助ける、またそれと並行してプレミアム分が大きい商品券を発行し、市民の方の生活を助けるとともに経済を回していくというような目的になっております。

◎世古明議長
辻議員。

○辻孝記議員

分かりました。商売人の方々と、それから消費者、市民の方々に対しての購買意欲を増していこうということで考えておられるというお話です。そうすれば、ちょっと観点を考えていただきたいんですが、5万6,000冊ということで、先ほどもありましたように世帯に1冊を購入していただくというお話だったと思います。

ちょっと私がここで疑問を感じるのが、若干福祉的な話になるか分かりませんが、生活困窮者であったりとかそういった方々が、今までの商品券、昨年やられた商品券もありますが、昨年の商品券は500円券で大規模店舗でも全部使えたということで、ある意味では価値がいろいろな部分で使える部分があったかと思うんですが、生活困窮者の方々によると少し500円券、やっぱり1円でも2円でも3円でも安いところへどうしても向かっていく傾向があるかと思うんですね、日々の生活ということがあるので。そういうところを考えますと、どうしてもその今回の枠が小規模店舗ということで限定されておられるということもありまして、今回そういった低所得者の方々が購入しようと思っても、プレミアム率100%と大きいんですけれども、なかなか購入して活用しづらいところも若干出てくるのかなと思うんですが、その辺はどのようにお考えなのかお聞きしたいと思います。

◎世古明議長
商工労政課副参事。

●野中商工労政課副参事

やはりこれは、繰り返しになりますけれども、事業者目線で考えますと、市内によってはといいますか、全国的に大きなスーパーというのはこのコロナ禍においても営業成績がいいというふうに発表されております。また、小規模の店舗につきましては、やはり困っているのがずっと続いているということで、そちらを中心に考えたというふうになっております。以上です。

◎世古明議長
辻議員。

○辻孝記議員

分かりました。商工のほうから考えればそうだと思います。福祉のほうから考えれば、本当にそれでいいのかなと心配になっています。

先ほど言いましたように、低所得者の方々が使いやすい形をと思うと、少し丸投げな感じになるか分かりませんが、よその市町ではやっておられますが、世帯に送る、渡すという考え方もあろうかと思うんですね、差し上げる。例えば1冊、そういった方々に対しては1冊贈呈をして、その方々がふだんなかなか行きづらいところに行っていていただいて、そこで消費してもらおう。若干、当然プラスアルファしないと商品券はお釣りが出ませんから、プラスアルファすることになりますけれども、ふだん行けないところに行けるということを考えれば、地域の方々もその低所得者の方も、今まで行けなかったところに行けるなどということになるかと思うんですけれども、その辺の考え方というのは持っていないんでしょうか。

◎世古明議長

商工労政課副参事。

●野中商工労政課副参事

やはり私ども商工労政課といたしましては、5,000円の効果よりも倍の1万円が、市内が変わるという経済効果のほうを優先してございます。

◎世古明議長

辻議員。

○辻孝記議員

今回は福祉としては一切考えないという形で理解してよろしいんでしょうかね。

◎世古明議長

情報戦略局長。

●浦井情報戦略局長

今回の事業につきましては、先ほど申し上げましたところもありますけれども、県事業の支援が届いていないところからそういうところに目を向けまして、生活者、事業者等への支援をするというふうな基本スタンスのところでも今回、必要な事業のほうを考えさせていただいております。

ただ、困窮者の方の定義というのはなかなか難しいんか分かりませんが、中小規模店で購入できる商品はたくさん生活に必要なものだと思っておりますので、大規模店ではないと生活困窮者の方が買い物をしないというわけでもございませんし、中小規模店を支援しながら、そして市民の皆さんのほうにも100%のプレミアム率で年始の時期に買い物をさせていただくというふうな相乗的な効果を見据えてこの事業のほうを考えております。

ですので、福祉のほうはどうのというよりも、この市内の消費喚起と市民の皆さんの年始の生活を支えるというようなところも含めまして、今回は100%というふうにして、それと説明しましたとおり、各世帯の皆さんのほうが知らなかったということのないように

郵送で引換券のほうもお送りさせていただいておりますので、そういった点では市民の皆さん全員のほうに支援を届けるというふうなスタンスでこの事業のほうは取組ができるものと考えております。以上です。

◎世古明議長
辻議員。

○辻孝記議員

分かりました。僕、心配しているのは、去年は子育て世帯の方と、それから住民税非課税世帯という形で、そういったところへ購入できる商品券を発行したわけですけれども、子育て世帯はいいんですけれども、住民税非課税の方に発行なされた部分では購入もしにくかった部分も若干あるかというふうに思いますし、実績を見ましてもやっぱり若干少なかったのかなというふうに実感しております。

そういったことをやっぱり成功させていきたいと思いますので、今回の事業もすごくいい事業だと私は思っております。だけれどももう一つ欲しいのは、伊勢市民全員がある程度潤うという形にしてやってほしいということを考えましたときには、せめてそういった生活に困っている方々、お金に余裕がない方々がたくさんみえるわけですので、その方々に対しての手当というのは少し、今日ここで全協をやっていただいているわけですので、検討していただいて、最終日の補正予算に上がってくるんでしょうから、そのときにどのように変わっているのか期待しておきたいと思いますので、よろしく願います。以上で終わります。

◎世古明議長
他に御発言はありませんか。
中村議員。

○中村功議員

私のほうからは、No.5の年末年始混雑緩和事業についてであります。4番の市営宇治駐車場の駐車料金無料化についてお伺いしたいと思います。

先ほども宮崎議員のほうからもありましたが、17日間、平日を4時間無料化すると、こういうことでお聞かせいただいたんですが、まず最初に、例えば8時間置けば幾らになりますか。4時間を超えて30分ごとに100円ですか。ちょっとお答えください。

◎世古明議長
交通政策課長。

●小林交通政策課長

おおむね通常の運営で8時間ということがございます。おおむね800円程度になろうと思います。ちょっと今、計算書は持っておりませんが。

◎世古明議長
中村議員。

○中村功議員

ありがとうございます。実はこの内容を聞かせていただいて、その4時間無料化にすることで混雑緩和が図れるんだらうかと、このような気がいたします。これまでの1月の平日で渋滞状況とかいうのは、客観的でもよろしいですが、どれぐらいの感覚で捉えておりますでしょうか。

◎世古明議長
交通政策課長。

●小林交通政策課長

1月の平日におきます渋滞でございますが、過去の実績からしますとほとんど渋滞はございません。

◎世古明議長
中村議員。

○中村功議員

もうほとんど渋滞がないのが800円で止められるということになると、近くの企業が止めに来ないかなというふうに私は思うんですが、その辺のところはどのようにお考えでしょうか。

◎世古明議長
交通政策課長。

●小林交通政策課長

従業員の方が止められるという御心配でございますが、そこのところは4時間までは無料にしまして、今現在1時間無料でございますが、それを4時間無料にしまして、それ以降は料金がかかってまいりますので、そこら辺の心配は少ないのではないかなと考えております。

◎世古明議長
中村議員。

○中村功議員

私は1日1,000円ぐらいだったら止めるのと違うかなと、こういうふう感じておりま

す。そのことによってかえって渋滞が起こるのかなというふうに思っておりますし、また今後、この駐車場が今2時間で500円になる部分がありますので、この体系を崩すことになるので、今後も、この1月だけではなく、ほかの月でもそういうことを企業が求めてこないのかというようなことをちょっと気にしております。

渋滞ですので、混雑緩和が、日曜日に行く人が4時間無料化にすることによって本当に休日のその混雑が緩和されるのだろうか。もちろんそういうことの分散化ということでもありますので、むしろ平日の置きっぱなしによる回転が望みにくいのではないか。特に内宮前なんか4時間も置かれたら何も回転しないと違うかという、平日でも回転しないのかということ非常に危惧するわけです。その辺はどのようにお考えでしょうか。

◎世古明議長

交通政策課長。

●小林交通政策課長

この施策でございますが、初めての試みでございます。ですので、どういう状況になるかは分かりませんが、なるべく休日を平日に持っていきたいということで考えております。

ただ、先ほどお伝えさせていただきましたが、4時間ということであれば従業員の方もそれほど止められないのではないかと考えております。

◎世古明議長

中村議員。

○中村功議員

分かりました。

従業員の方については、仮の話ですので、ちょっと心配な部分を述べさせていただきました。私は、その平日による渋滞がかえって日曜の緩和につながらないと、このように思っておりますので、この件については反対ということを表示して協議させていただきます。ありがとうございました。

◎世古明議長

交通政策課長。

●小林交通政策課長

8時間800円とお伝えさせていただきましたが、表が出てきまして、1,700円でございます。大きく違って申し訳ございません。

◎世古明議長

他に御発言はありませんか。

上村議員。

○上村和生議員

皆さんいろいろと質問いただいたので、1点だけお聞かせください。

No.6のクリエイターズ・ワーケーション促進事業のほうで、募集から3週間で、ここでは約430名と想定を超える数の応募が集まっていることから、参加人数の上限を50名から100名に増やすというようなことで増額ということでありますけれども、先ほどの話を聞かせていただいていると、もう600名も超えておるといような話でございましたけれども、この100名に絞らないかと思うんです、最終的には。その辺の基準、どのような基準で選定、この100名を選んでいくのか、誰が選ぶのか、その辺のことについてちょっとお聞かせください。

◎世古明議長

観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

応募者の経歴ももちろんなんですが、伊勢での取組など、また伊勢でのPR、またこのクリエイターの方たちが滞在したことや今後見込まれる創作活動が伊勢のPRや伊勢の観光にとって効果が期待できる方ということで選定したいと思っております。

選定につきましては、選定委員さん5名の方をお願いしております、美術であったり音楽であったり、そういった地元の団体さんの中でも、音楽に明るい方とかの5名を選定委員の方としてお願いしております。以上でございます。

◎世古明議長

上村議員。

○上村和生議員

分かりました。600名を6分の1に絞るといのは大変なことやと思うので、慎重にこれやっていたかへんといろんな問題もまた出てこようかと思っておりますので、その辺きっちり見える化といったらおかしいですけれども、透明性を確保した中で選定をいただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

◎世古明議長

他に御発言はありませんか。

鈴木議員。

○鈴木豊司議員

1点だけお尋ねをさせていただきたいと思っております。

No.2の戸籍住民課窓口混雑状況配信事業でございます。これ、窓口の待ち人数であるとか呼出し番号がホームページ上で確認ができるということでございますけれども、そうい

うシステムをつくることによって本当に窓口の混雑が緩和できるとお考えなんですか。

◎世古明議長

戸籍住民課長。

●西川戸籍住民課長

このシステムを導入するに当たりましては、先行的にやっている市町のほうに調査も入れさせていただきました。実際、数字でどれほど減ったということはとっていないみたいなんです。番号を確認する手続をして庁外へ出かけられる方が多々見られるということです。取りあえずはその待合室は少し客待ちが減ったというような状況をつかんでいるということでございます。

◎世古明議長

鈴木議員。

○鈴木豊司議員

それと、この資料に待合スペース以外の場所ということで車内等ということで書いてもらっているんですけども、車の中以外に何を想定されておるんですかね。

◎世古明議長

戸籍住民課長。

●西川戸籍住民課長

駐車場の自車の中以外にも、近くに買い物へ行かれたりそういったこともできるということですので、取りあえずその場を離れていただいても状況が分かるということになっております。

◎世古明議長

鈴木議員。

○鈴木豊司議員

もう1点。ということは、市民の皆さんは絶えずスマホや何なりをしていて、市のホームページを見ておかなあかんということになりますよね。そういう状況に市民の皆さんなのかと、絶えずそんな確認しておるわけにいかんように思いますもんで、いっそのこと駐車場の一角のほうへ電光掲示板かなんかつくったらどうですか。

◎世古明議長

戸籍住民課長。

●西川戸籍住民課長

まずは今回、この待合の密を避けるための第一歩の手段としてこのシステム導入を挙げさせていただいております。ですので、また今後いろんな方策もほかにあろうかと思いませんので、また検討させていただきたいと思います。

◎世古明議長

鈴木議員。

○鈴木豊司議員

なかなか当局が思われているような成果は出にくいというようなことを私自身感じていますので、また結果を見て一工夫もしていただければというふうに思います。以上です。

◎世古明議長

暫時休憩させていただきますが、この1番から8番までまだ御発言がある方、挙手をお願いいたします。

〔発言者挙手〕

◎世古明議長

会議の途中ですが、2時40分まで休憩いたします。

休憩 午後2時30分

再開 午後2時40分

◎世古明議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

御発言はありませんか。

世古口議員。

○世古口新吾議員

議長から発言許可をいただきましたので、No.4、経済対策のところ、首都圏期間限定店舗設置事業についてお伺いしたいと思います。

この問題につきましては先ほど吉岡議員のほうから質問がございまして、横浜のほうで店舗は設置している、いろいろ関わりのある店舗を活用する中で、地域産品を販売しながら伊勢市の観光PRを行っていきたいということで、それについては分かるわけですが、この期間、設置期間が1月から3月の1か月半程度ということでございますので、それにつきまして、市の観光協会のほうへ委託という先ほど質問の中で答弁がございましたが、どのように考えておるのか。そして、地域産品についてどういった品物を考えておるのか。やはり伊勢のPRということになってきますと、いろいろ冬場でございますので品物も限定されてくるとは思いますし、そしてまたイチゴなんかは全国的に作られておりますし、伊勢のPRとしては弱いのではないかなと、このような気も若干せんことないわ

けですので、そのようなことについて、産品について具体的にお聞かせ願いたいと思います。

◎世古明議長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

首都圏期間限定店舗設置事業でございます。こちらにつきまして、今、事業概要書のほうには1月から3月までの期間のうち1か月半程度と書かさせていただいておりますけれども、現時点で予定をしておりますのが、現実的には2月上旬になろうかと思いますが、それから3月にかけて1か月半から、できれば2か月近く設置をしたいというふうに考えております。

先ほど議員仰せのとおり、伊勢の産品ということで農産物もちょっとどこまで、やはり生鮮というものになってきますと輸送にも若干やはり時間等もかかりますことから、ちょっとどの辺りまで取扱いをさせていただけるかというところもちょっと考えながら、どういったものを販売して伊勢というものをアピールしていくかということも含めまして考えていきたいというふうに思っております。以上です。

◎世古明議長

世古口議員。

○世古口新吾議員

観光PRは非常に結構かと思えますし、やはり伊勢のPRの中でそういったこともやっていただきたいなど、このように思います。やはり冬場で市内の産品ということを考えてみましてもほとんどないような時期でございますし、そしてまた日もちの関係もございまずので大変だとは思いますが、参考に、問題提起になるかならんかは別として、やはり伊勢の青ネギ、青ネギですと、冬場ですとすき焼きとかいろいろな面でも使われますし、そして蓮台寺の生の柿やなくして干し柿、あれ非常に人気がありますので、ああいったものですか、伊勢たくあん、二見の松下のあおさ、こういったものが非常にこの時期を考えてみますと限られてくるのではなかろうかと思っておりますので、余談になりましたがしっかりとPRする材料としていろいろな面を考えていただきたいと思っております。終わります。

◎世古明議長

産業観光部長。

●須崎産業観光部長

すみません、少し補足をさせていただきます。

今回のこの首都圏の発信の事業なんですけれども、基本的にはコロナ禍関係で非常に市内の土産物等を中心に売れなくなっておるのが一番、商業者の方の打撃を受けてお

ります。

農産品のお話をされましたけれども、そちらの部分は基本的にこの事業では主体とはしておらないので、ちょっと誤解があるといけませんので、ただアオサとか乾燥品で日もちもするようなものとか観光土産品になっておるようなものは対応できると思うんですけども、基本的には観光土産でなかなかお土産を買っていただけない状況にあるということから、首都圏のほうへ持っていけば非常に売れるということもお聞きしていますので、市内の事業者を助けるという意味で開催しますので、御理解いただきますようによろしくお願いいたします。

○世古口新吾議員

ありがとうございます。

◎世古明議長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明議長

御発言もないようですので、環境生活部関係分及び産業観光部関係分を終わります。説明員入替えのため、暫時休憩いたします。

休憩 午後 2 時46分

再開 午後 2 時48分

◎世古明議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

次に、事業概要書の7ページをお開きください。

7ページから9ページまで、事業概要書のNo.9からNo.14まで、都市整備部関係分及び教育委員会関係分について御発言はありませんか。

中村議員。

○中村功議員

この項で、教育委員会の項になりますが、No.10、11、12、13、14というふうに絡んでいきますので、全体的ということで御理解願いたいと思います。

ここにサーモグラフィカメラが各施設に、No.13を除いて配置予定ということですが、まず、1基どれぐらいの費用がかかるんでしょうか、1個設置するのに。お伺いしたいと思います。

◎世古明議長

社会教育課長。

●山口社会教育課長

1基当たり、私が見込んでいるのは33万円ほどでございます。

◎世古明議長

中村議員。

○中村功議員

ありがとうございます。この施設を各ところに置くと、自動的に体温が出るという理解をしておるんですが、その各施設において、例えば体温が何度になったらとか何か基準はあるんでしょうか。

◎世古明議長

社会教育課長。

●山口社会教育課長

当初、国とかの基準ですと、37.5度でございます。

◎世古明議長

中村議員。

○中村功議員

ありがとうございます。37.5度と、こういうことであります。

そうすると、その37.5度あった方についてはどのような措置をとられるんでしょうか。

◎世古明議長

社会教育課長。

●山口社会教育課長

発熱がある方については参加を極力辞退していただくというような形で案内をしております。

◎世古明議長

中村議員。

○中村功議員

そうすると、そこのカメラを見ている方が常に受付かなんかでおるんでしょうか。

◎世古明議長
社会教育課長。

●山口社会教育課長

図書館とかですと、既にカメラのほうで発熱がある方については音声とかブザーが鳴ったり、そういったことで対応しようと思っています。

あと、イベント等につきましては、そこに一人、どなたかがチェックをする人を配置するというようなことを場合によっては考えております。

◎世古明議長
中村議員。

○中村功議員

ありがとうございます。自動でも鳴るということで理解させていただきました。

そうすると、各施設に配置基準、この施設には幾つつけるだとか、こういうことはあるんでしょうか。これ全部、教育施設がもうこれで終わりなのかどうかちょっとよく分かりませんが、1か所について1個つけるのか2個つけるのか、そういう基準は何か持たれておるんでしょうか。

◎世古明議長
社会教育課長。

●山口社会教育課長

生涯学習施設につきましては出入口が2か所のところで、市民の方がよく使う出入口が2か所あるということで二つ。図書館につきましては出入口が1か所ですので、出入口に1か所ということで、それが伊勢図書館と小俣図書館とありますので2台購入する予定ということになります。

◎世古明議長
中村議員。

○中村功議員

そうすると、あと残る教育施設のほうで必要だと思われるような、今後の予定としてまだ予算的にもあるんでしょうから、全部というわけにはいかんのでしょうかけれども、そういうところでまだ漏れている施設というのはあるんでしょうか。

◎世古明議長
社会教育課長。

●山口社会教育課長

今回は、これまでも各施設では体温計の設置というのはさせていただいております。非接触のやつで自分で測っていただくという形のものでございます。今回、9月19日以降、イベントの開催基準でありますとか施設の収容率の緩和ということもございますので、そういった不特定多数の方が来る施設については優先的にそういうものを導入していきたいというふうに考えております。以上です。

◎世古明議長

中村議員。

○中村功議員

ありがとうございます。まだまだあるのかなと思って、こういうカメラがつくと自動で便利なんだと、自分の体温、私もそういう施設のところへ行くと、よその施設ですが、体温を測られたりしますので、そういう自動で測られたこともあります。やはり自分の体温が今現在どれだけなのかというのがよく分からん場合に非常に有効的かなと考えます。

この教育委員会の施設でいけば、文化施設のところに四つ施設があるんですが、ここについてはカメラがまだ配置されていないのか、もう既に入っているのかなとかいう気も、必要ないのかというような判断を下されておるのか、その辺はどのようにしてこの施設が外されたのかお伺いしたいと思います。

◎世古明議長

文化振興課長。

●大西文化振興課長

文化施設の4か所につきましては一度に来館される方の数が少ないということを考えて、先ほど社会教育課長のほうから御答弁申し上げましたハンディタイプ体温計で対応するというので十分賄えるであろうという判断のもと、今回は予算計上をさせていただいてはおりません。以上でございます。

◎世古明議長

中村議員。

○中村功議員

ありがとうございます。教育施設はこういうふうに熱心に上がってくるんですが、学校側はどうなのかなという気はせんではないんですが、ほかの施設、役所の大きな施設というのはどのようにお考えでしょうか。

◎世古明議長

情報戦略局長。

●浦井情報戦略局長

今回の補正におきましては、教育委員会が所管する施設におきまして、観点としてはホールを有する施設で、例えば市外から不特定多数の方が御利用される施設、こういった観点で生涯学習施設、図書館、体育施設等に対策を講じることとしております。

議員御指摘の他の公共施設につきましては、大変申し訳ございませんですが、現在同様の観点で調整を行っておりまして、追加の補正予算のほうにおきましては、施設のほうを追加させていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

◎世古明議長

中村議員。

○中村功議員

ありがとうございます。ぜひそのような検討をしていただきたいと思います。終わります。ありがとうございます。

◎世古明議長

他に御発言はございませんか。
宮崎議員。

○宮崎誠議員

私からも数点お聞かせ願いたいと思います。私は、7ページ目のNo.9のおかげバスキャッシュレス決済導入事業についてお伺いしたいと思います。

これまでも、おかげバスを含めてキャッシュレス決済ができるものがあればという形の議論がされてきたかと思っております。この中で、私はぜひともお伺いしたいなということをお聞かせ願えればと思っております。今回のICカードリーダーの整備という形で入っておりますが、今回の事業では設置するのみでの完了という形で考えてよろしいでしょうか。

◎世古明議長

交通政策課副参事。

●平見交通政策課副参事

議員おっしゃるとおり、今年度の今回要求させていただいた予算の中では、おかげバス9台の機器の購入と設置のみでございます。以上でございます。

◎世古明議長

宮崎議員。

○宮崎誠議員

分かりました。今回、この概要書の説明の中にも、キャッシュレス決済導入時期が来年、令和3年11月頃という形で入っております。このシステムの構築については別途予算計上 がされてくるのかなと考えておりますけれども、ここへの何か課題がありましたらお聞かせください。

◎世古明議長

交通政策課副参事。

●平見交通政策課副参事

今後システムの構築という形で来年度以降、現在、計画をしておるんですけれども、1点、課題としましては、現在、紙ベースで鉄道からの乗継割引であったりとか路線バス、おかげバスからの乗継割引ということで100円の割引をしておるんですけれども、その紙をこのIC化した後も残すべきか残さざるべきか。ICカード普及を目的にするのであれば、もう紙をやめてICカード利用者のみで割引を考えていくというのも一つだと思うんですけれども、その辺りについてはまた一度まとめさせていただきまして、また議会であったりとか公共交通会議のほうで御相談をさせていただいて決めていきたいと考えております。以上でございます。

◎世古明議長

宮崎議員。

○宮崎誠議員

ぜひともこの乗り継ぎについては、私も気になる場所でありましたので、ぜひとも様々な方の御意見をいただきながら、研究も踏まえて、紙ベースを残すのか残すべきでないのか、そういったことについて聞いていただければと、考えていただきたいと思います。

また、今回事前にお伺いしたところ、エミカのほうが使えるという形でお伺いしました。このエミカになると三重交通のICカードという形で交通系ICカードになるんですが、これを使えば乗り継ぎがスムーズになるのかなと私自身も考えております。これ以外にも、全国的に普及しているPiTaPaだったりSuicaだったり、そういったものが約10種類のICカードあると思うんですけれども、これについては乗り継ぎの際の100円割引、こちらが利用できるのかだけお聞かせください。

◎世古明議長

交通政策課副参事。

●平見交通政策課副参事

先ほどの答弁と重なる部分もあるんですけれども、いわゆる10カードと言われる全国共

通、相互利用できる鉄道系のＩＣカードなんですけれども、こちらについてもこのエミカのシステムで使える形ではあるんですが、乗継割引をタッチするのみで可能にしようということは、現実的には全国系を改修にいくというのは不可能ですので、その辺りも含めて全国系を使われる方、率でいうと、今伊勢営業所管外でいくと全国系を使われる方が９割という数字も三重交通のほうから聞いておりますので、その辺り紙を残すべき理由等の一つではあるのかなと思いつつながら、今後の議論でまた検討していきたいと考えております。以上でございます。

◎世古明議長
宮崎議員。

○宮崎誠議員

私もスマートフォンのほうではＳｕｉｃａの電子決済ができるという形で利用させていただいている一人だと思っております。実際に、今回利用できるエミカのほうが多ければ普及するのかなということが課題になるかなと感じているところです。今回おかげバスという話になっているんですけれども、循環バス、環状バス、そっちのほうでも利用できるようになっているのでしょうか。

◎世古明議長
交通政策課副参事。

●平見交通政策課副参事

現在、おかげバスの環状線という形で運行をさせていただいております。車両に乗っていただいた方は分かると思うんですけれども、現在、ＩＣの機器はついていないんですけれども、現時点では利用はできないという状況でございます。以上でございます。

◎世古明議長
宮崎議員。

○宮崎誠議員

回答いただきましたとおりに使えないということでもありますので、ぜひとも今回のこのおかげバスのほうで整備していただくことを踏まえて、一緒に来年の今頃、令和３年の１１月になりますけれども、そのときにはぜひとも利用できる形にさせていただいて、利用者の方が増える、そういった形につなげていただくように、今後もいろんな課題があるかと思っておりますけれども検討していただいて、利用者の方を第一優先という形で検討していただきたいと思っておりますので、ぜひともよろしく願いいたします。以上です。

◎世古明議長
他に御発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明議長

御発言もないようですので、都市整備部関係分、教育委員会関係分を終わります。
以上で御協議願います案件は終わりました。
これをもって全員協議会を閉会いたします。
ありがとうございました。

閉会 午後 3 時02分